

一ディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(262)(HP 収載) —ワーグナーの《ニュルンベルクのマイスター・ジンガー》—

1. 始めに

前報(261)に引き続き、STAGE+のワーグナーの《ニュルンベルクのマイスター・ジンガー》の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のワーグナーの《ニュルンベルクのマイスター・ジンガー》の演奏を選びました。

ワーグナーの楽劇《ニュルンベルクのマイスター・ジンガー》

ベルリン・ドイツ・オペラ 2022年

収録日: 2022年7月2日

ソリスト:

ハイディ・ストーバー (ソプラノ)、アニカ・シュリヒト (メゾソプラノ)、クラウス・フローリアン・フォークト (テノール)、ヤーツォン・ホアン (テノール)、ヨハン・ロイター (バスバリトン)、フィリップ・イエーカル (バリトン)、アルベルト・ペーゼンドルファー (バス)、ギデオン・ポッペ (テノール)、イェルク・シェルナー (テノール)、ブルクハルト・ウルリヒ (テノール)、クレメンス・ビーバー (テノール)、トーマス・レーマン (バリトン)、トビアス・ケーラー (バス)、スティーヴン・ブロンク (バスバリトン)、キム・ピョンギル (バスバリトン)、ジーモン・グリントベルク (テノール)

演奏:

ベルリン・ドイツ・オペラ管弦楽団、ベルリン・ドイツ・オペラ合唱団

指揮:

ジョン・フィオーレ

曲目:

リヒャルト・ワーグナー 楽劇《ニュルンベルクのマイスター・ジンガー》



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間とスイッチングハブ→PC 間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回も、OPT ISO BOX の導入(21)で設定したように PC の受信から GPS クロックを入力した SWD-DA20 に送り出して再生しています。

お馴染みの壮大な序曲から始まり、オーケストラピットからの演奏ですが、スケールの大きな演奏で、歌手達の歌唱が始まると控えめにサポートに転じます。

粗筋は下記に記載がありますが、歌合戦ということがテーマになっています。

<https://wso-tokyo.jp/meistersinger/>

舞台はたびたび変換することもなく、現代風に翻案されており、本来の時代背景をうかがわせるような面白みはありません。

多くの歌手達が入れ替わり立ち替わり登場しますが、彼らの歌唱は、重唱や合唱もふくめて明晰で、定位もよく、歌唱の質感が舞台の進行を的確に表現してくれています。





4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、さらに GPS クロックを入力した SWD-DA20 に送り出して再生した結果、オーケストラピットからのスケールの大きな演奏や多くの歌手達の歌唱が明晰であり、定位の良さで舞台の進行を的確に表現してくれます。

以上